

## 社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年12月22日

計画の名称	広域的な交流や都市力を高める基盤整備(第三期)											
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当
交付対象	相模原市											
計画の目標	広域ネットワークを形成する道路等の整備を進め、活力あふれ安心して暮らせる広域交流拠点都市を形成する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	9,858	A	9,858	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
	R6当初			R10末			
1	・地域間を結ぶアクセス時間として、相模大野駅から藤野駅までの往復時間を177分から167分に短縮する。 道路現況データ（センサス）や道路整備区間から相模大野駅から藤野駅までの往復のアクセス時間を算出する。	177分	分	167分			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R06	R07	R08	R09	R10		
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(都)相原大沢線・第4工区	バイパス整備 L=0.18km	相模原市						712		-
	A01-002	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	改築	(主)町田厚木・南台	交差点改良 L=0.3km	相模原市						324		-
	A01-003	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(市)相原宮下・延伸部	バイパス整備 L=0.84km	相模原市						2,896		-
	A01-004	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都)宮下横山台線	バイパス整備 L=0.34km	相模原市						1,179		-
	A01-005	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都)宮上横山線	バイパス整備 L=0.34km	相模原市						760		-
	A01-006	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	改築	(一)長竹川尻・長竹川尻期	バイパス整備 L=1.00km	相模原市						1,442		-
	A01-007	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(都)橋本大通り線	現道拡幅 L=0.49km	相模原市						1,066		-

A 基幹事業																								
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																						
		備考																						
道路事業	A01-008	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(都) 淀野辺駅山王線	現道拡幅 L=0.05km	相模原市						133		-					
	A01-009	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	改築	(都) 相原大沢線・第2工区	現道拡幅 L=0.38km	相模原市						276		-					
	A01-010	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	改築	(主) 相模原町田	現道拡幅 L=3.5km	相模原市						1,070	1.47	-					
												小計					9,858							
												合計					9,858							

## 交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	109				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	109				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	102				
翌年度繰越額 (f)	7				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 広域的な交流や都市力を高める基盤整備(第三期)

事 前 評 値		チェック欄
I . 目標の妥当性 上位計画等との整合性		
I . 目標の妥当性 1 ) 上位計画等と整合が図られている。（計画名 国土形成計画全国計画、社会資本整備重点計画、未来へつなぐ さがみはらプラン～相模原市総合計画～）		<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 地域の課題への対応		
I . 目標の妥当性 1 ) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。		<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等		
II . 計画の効果・効率性 1 ) 目標と指標・数値目標の整合が図られている。		<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 2 ) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている。		<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 3 ) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。		<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 事業の効果		
II . 計画の効果・効率性 1 ) 十分な事業効果が確認されている。		<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 2 ) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境		
III . 計画の実現可能性 1 ) 全体事業費、要素事業の額が適切である。		<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 2 ) 事業実施のための環境整備が図られている。		<input type="radio"/>

(参考図面)

